

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月10日(土) Aブロック 1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第4試合

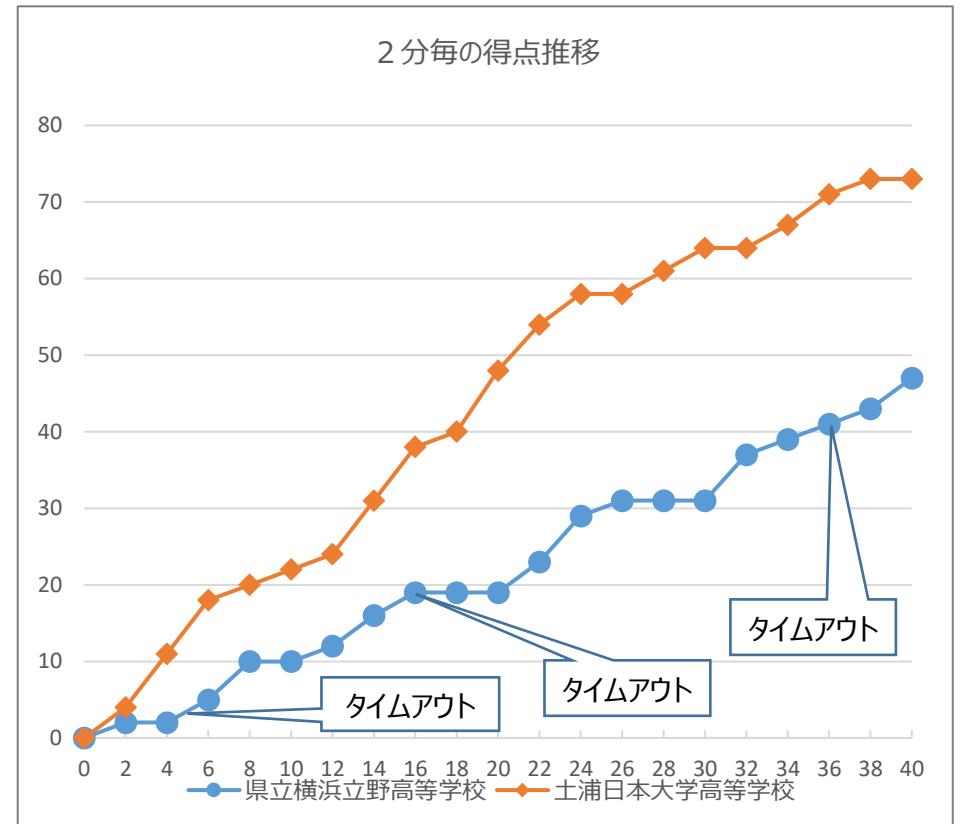
チームA		10	1st	22			チームB
県立横浜立野高等学校 (神奈川県)	47	9	2nd	26	73	土浦日本大学高等学校 (茨城県)	
		12	3rd	16			
		16	4th	9			
		OT					

Aチーム： 県立横浜立野高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	松野 純怜	12	0	0	6	10	0	0	2	3	1	4
2		5	前田 向日葵	5	1	3	1	3	0	0	1	0	3	3
3	*	6	小林 来夢	2	0	4	1	9	0	0	0	0	4	4
4	*	7	庵 杏	8	2	6	1	2	0	0	0	0	8	8
5	*	8	大津 瑠莉	6	0	1	3	8	0	0	3	1	1	2
6		9	沖田 茉歩	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
7		10	伊藤 美月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	*	11	阿部 沙夏	0	0	1	0	1	0	0	3	0	1	1
9		12	有馬 遊那	14	0	1	6	11	2	2	3	1	0	1
10		13	鎌田 英里	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2
11		14	矢作 ゆう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		15	笠原 凧紗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		16	木川 結杏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		18	宮田 倅佳	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
15		19	山中 眞	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
HC/TEAM			石川 一洋											
合計				47	3	18	18	46	2	2	15	6	19	25

Bチーム： 土浦日本大学高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	岡崎 真依	10	0	7	5	12	0	0	2	1	3	4
2		5	久野 心鈴	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0
3	*	6	川崎 明	11	1	4	3	7	2	2	3	1	1	2
4	*	7	飯田 莓	19	4	10	2	4	3	5	0	3	3	6
5	*	8	檜山 凜々華	19	0	0	9	20	1	3	2	12	10	22
6		9	岩坂 真紘	4	0	0	2	3	0	0	3	0	4	4
7		10	高柳 胡桃	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8		11	眞田 柚姫	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1
9		12	神田 結衣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		13	永積 響香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		14	小川 にこ	2	0	2	1	1	0	0	0	0	2	2
12	*	15	西山 陽南夏	6	0	0	3	6	0	0	0	0	1	1
13		16	石塚 ありさ											
14		17	添野 紗姫菜											
15		18	海老原 陽											
HC/TEAM			川満 有紀									3	3	6
合計				73	5	25	26	56	6	12	10	20	28	48



戦評

記者：土屋 一人 (山梨県高体連)

1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。1対1を中心に攻撃を展開する土浦日大は#7、#8を中心に加点。横浜立野はなかなか主導権を握れず、タイムアウトや守備を変えながら勝機をうかがう。#7、#5の3Pで反撃するも、土浦日大の守備をなかなか崩せず22-10土浦日大リードで1Q終了。2Q、土浦日大は積極的な1対1に加え、速攻も効果的に決めてリードを広げていく。中でも#7の3Pと#8のインサイドプレイが効果的であった。横浜立野はインサイドを起点に中-外の攻撃を試みるが思うように得点が伸びず、48-19土浦日大リードで前半終了。3Q、横浜立野は守備で積極的にローテーションを仕掛けてシュートミス誘発する。攻めでも#12の1対1で食らい付く。土浦日大は1対1からの合わせのプレイが効果的に決まりリードを保ったまま64-31土浦日大リードで3Q終了。4Q、横浜立野は引き続き攻撃的な守備を仕掛け、リズムを作る。攻撃でも#12が好調で得点源となる。土浦日大はここまでのリードを生かし、落ち着いた試合運びをしていく。73-47土浦日大の勝利で試合終了。土浦日大は関東新人大会1位の実力通り、攻守ともに隙のないバスケットを展開した。対する横浜立野は積極的な守備とベンチと応援席が一体となって戦う諦めない姿勢に好感が持てた。

主審	第1副審	第2副審
平原 勇次 (本部)	前田 菜津子 (山梨県)	荻野 健 (山梨県)